新しきクリエーター

美の小箱
藤原護

文・増田洋〈美術評論家〉

藤原護は、メルヘン空間を描き続けている珍らしいタイプの現代画家である。彼の作品は、世間でいう童画ではない。作品を詳しく調べると、絵の中に存在する人物や事物は、現代社会に対する作家の批評の象徴として感じられ、控え目にしているが、自分に対して誠実であろうとして、社会を見、自分を見ている青年画家の姿を見ることができる。

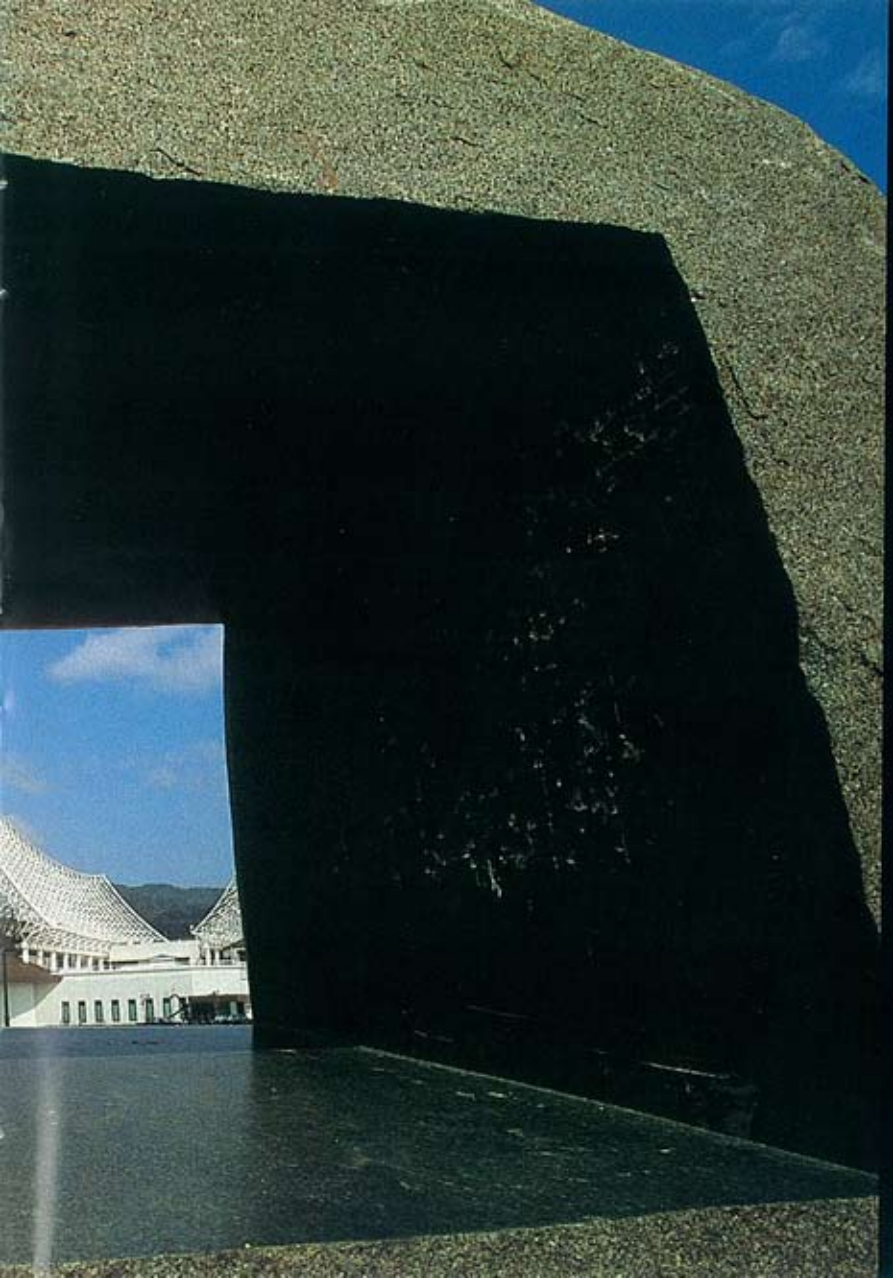
藤原護の絵の特色は、色彩の扱いである。すべての色彩が、明度を高くして彩度を抑えることで、穏やかな色調に統一され、多くの人々に親しまれる雰囲気を作り出している。聞くところでは、藤原護はいわゆるサンデーアーチストのようである。しかし、兵庫県立近代美術館公募県展、宇部現代日本絵画展、日本青年画家展などの現代絵画コンクールに出品し、受賞を重ねているので知名度はかなりなものとなり、コンクール受賞の常連の域に近づいた。このことは彼の作品を認める人が多いということである。

私は、神戸以外で、藤原護の作品に出会う機会が増えていることに注目している。現代では、藤原護のようなメルヘン空間を造形する画家に対して、評価は好意的とはいえない空気がある。彼が独自性を失わずに、表現の領域をどのように拡大し、深めていくのか、関心を持ち続けたいと思う。

otonomie 1987

藤原　護

1957　兵庫県に生まれる
1982　関西大学卒
　　神戸市展神戸市長賞
　　兵庫県展神戸新聞社賞
1985　ギャラリー伊丹大賞展奨励賞
　　二紀展　奨励賞
1986　二紀展　優　賞
　　上野の森美術館絵画大賞展特別優秀賞
　　現代日本絵画展　佳作賞
1987　東京セントラル美術館油絵大賞展出品
　　個展（サンパル市民ギャラリー）
1988　日本青年画家展優秀賞
現在二紀会同人



神戸新景

No.
5

P.小山　保

メリケンシアター

KINOSHITA
PEARL
CO.,LTD.

Order Salon

株式会社 木下真珠

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)
TEL (078)221—3170
10:00AM～6:00PM 無休

東京／赤坂・銀座・青山　大阪／心斎橋

ヴィヴィットに生きたい！
心を自由に解放して
女は弾む
透明なブルーの空に。

ヨーロッパ直輸入のファッションを
お届けするウインザー・サマーコレクション
現代(いま)を美しく生きる女性たちへ
贈るメッセージは…

Elegance of Today

クチュール●ブティック
ウインザー

〒650 神戸市中央区三宮町1丁目さんプラザ2F
TEL (078) 331-7952

□HEAD OFFICE
WINDSOR BUILD. 2F
4-1-14 HACHIMAN DORI
CHUOKU KOBE 231-2013

□ atlee
SANPLAZA 1F 391-5029

□ ALPHA CUBIC women
CENTER PLAZA 1F 332-3929

□ KOBE MOGA
SANPLAZA 1F 331-5875

□ D GRACE
SANPLAZA 2F 331-3903

□ STAR CLUB
WINDSOR BUILD. 1F 251-1713

貴婦人が愛したお菓子

今田美奈子 お菓子教室

●講師／東京原宿雑居院の館
今田美奈子お菓子教室主宰
今田（いまだ） 美奈子（みなこ）

東京以外で初めて開校となった"今田美奈子お菓子教室" ヨーロッパの洗練されたお菓子作りをお楽しみいただける2つのコースをご用意しました。王宮菓子をはじめ、ヨーロッパ各地方の伝統的なお菓子の作り方や歴史を学ぶ製菓コース。結婚式など、喜びの日を豪華に彩るアニバーサリーケーキの作り方や飾りつけを学ぶシュガーデコレーションコース。どちらもわかりやすいカリキュラムで、本格的なお菓子作りをマスターしていただきます。また、コース終了の方にはライセンスを発行いたします。

■製菓コース（基礎科）

月1回（1年間）

毎月第2金曜 午後2時30分～4時30分 定員30名

- 受講料/月 8,000円
- 入学金/ 30,000円（4年間有効）
- 修了証/ 20,000円
- 師範資格認定証
（基礎科、研究科、専科を修了後になります。）

■シュガーデコレーションコース

月1回（1年間）

毎月第2木曜 午後2時30分～4時30分
第2金曜 午前10時30分～午後12時30分
（2日連続） 定員30名

- 受講料/月20,000円
- 入学金/ 30,000円（4年間有効）
- 師範資格認定証料/200,000円
- プロフィール

英チャールズ皇太子・ダイアナ妃のウェディングケーキ制作者であるメリー・フォード女史に学び、現在原宿で「今田美奈子お菓子教室」を主宰。美食大使の称号やシュバリエ賞など数々の賞に輝く。

手作り人形のつどい

柴田瑛代 創作人形教室

●講師／アトリエ サロンド・プペ主宰
柴田（しばた） 瑛代（てるよ）

「愛とメルヘンの世界」が、今ここに広がります。白雪姫や親指姫など子供の頃に夢みた主人公たちを、あなたの手でつくってみませんか。人形作りの基本から応用までポイントをおさえ、カリキュラムに応じてわかりやすくご指導いたします。

月2回 毎月第1・第3火曜（1年間）

Ⓐ午前10時30分～午後12時30分 定員15名
Ⓑ午後1時30分～3時30分 定員15名
Ⓒ午後6時30分～8時30分 定員15名
（Ⓐ・Ⓑ・Ⓒご都合のいいクラスをお選びください。）

- 受講料/月7,000円
- 材料費/実費
- プロフィール

洋裁の勉学と平行して独自の創作人形を製作、徳山市にて「第1回個展」を開催。テレビ・新聞・雑誌等で活躍中のかたわら、博多大丸文化サロン、徳山市に創作人形教室を開講。

身近な素材が華麗に変身

平本節子 デコパージュ教室

●講師／サロン・ド・デコパージュ主宰
平本（ひらもと） 節子（せつこ）

切り抜いた写真や絵など身近な素材を使って仕上げるデコパージュ。オリジナルのインテリアグッズや工芸品づくりがお楽しみいただけます。ヨーロッパで生まれた手づくりのおもしろさを、あなたもご趣味のひとつとしていかがでしょう。

月1回 毎月第3金曜（1年間）

Ⓐ午前10時30分～午後12時30分 定員20名
Ⓑ午後1時30分～3時30分 定員20名
（Ⓐ・Ⓑご都合のいいクラスをお選びください。）

- 受講料/月5,000円
- 初回教材工具代/約10,000円（材料費含む）
- 材料費/実費
- プロフィール

立教大学卒業後、医師である夫と共に渡米。ミセスキャロルよりデコパージュを学ぶ。帰国後、日本人の好みに合う独自のデコパージュを研究。現在、テレビ・新聞・雑誌等で、広くデコパージュの紹介につとめる。

会員募集中

お申し込み・お問い合わせは
▼
電話(078)331-8121(内線2790)
新規事業開発室 担当：福島

趣味のある暮らし、素敵です。

今すぐ何かを始めたい…。そんなあなたに、
いつからでもご入会できる3つのクリエイティブメニューをご用意。
いずれも一流講師陣の直接指導による、本格的な講座ばかり。
手づくりの楽しさが広がる素敵な趣味との出会いで、
暮らし輝かせてみませんか。

LADIES' GALLERY

レディースギャラリー〈大丸神戸店文化教室〉BLOCK30 2階（大丸カーポート2階）

ひと、光る、神戸です。

初夏の街に踊る服——

erreuno®

シャープに着こなして

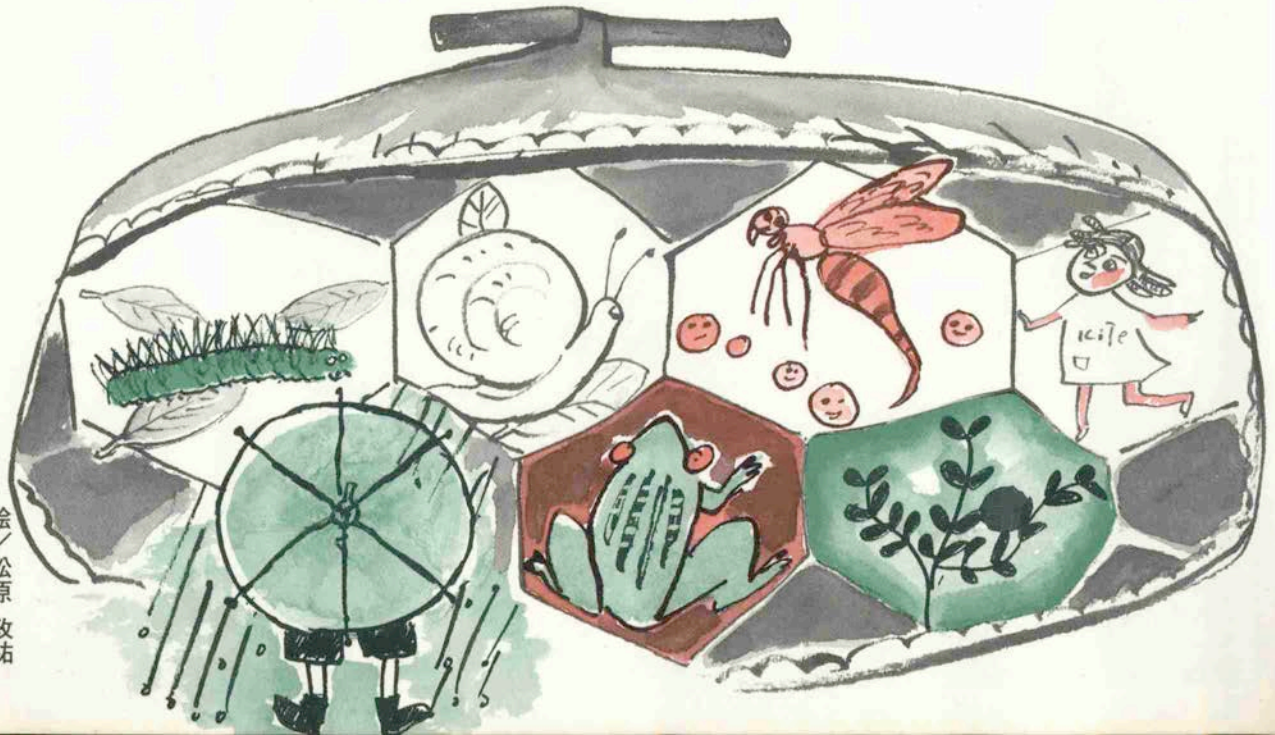
Sanohe

ヌーベルサノヘ〈元町1番街〉TEL 321-1710

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です

5月号目次●1988・No.325

表紙／小磯良平
セカンドカバー／西村　功　9
神戸っ子88／古川知子／中川博志　12
ある集い／甲南大学軟式野球／神戸大学医学部麻酔学教室　15
コウベスナップ／流通科学大学開校／北神戸急行開通　16
美の小箱／藤原護　文・増田洋　18
神戸新景／カメラ・小山保　29
私の意見／辻村豊治　30
poem de KOBE／真冬の摩訶不思議・たかとう匡子
　イラスト／田中一好　32
随想二題／川瀬喜代子・浅井審一　34
地域文化論／嶋田勝次　36
れんさいエッセイ／野口武彦　カット／田中一好　38
ひょうごホロンピア'88　40
経済ポケットジャーナル　42
〈特集〉神戸・駅のある風景　画・西村　功
文・伊勢田史郎・釜谷かおる・島田誠・多田智満子
・有井基・季村敏夫・坪田健児・鈴木漠
キャンペーン座談会／「神戸まつりを考える」　妹尾美智子
・末広光夫・田中徳喜・増田晴信・草野旦・今田由美子　58
上方伝統芸能の宴　70
話題の広場／神栄石野証券本店移店オープン　73
話題の広場「いい話みつけ旅」　74
もうさんの兵庫ウォーク／21世紀をになう青少年祭　84
ファッションウォッチング　86
ふたたびプロフェッサーPの研究室／岡田淳　106
コーヒーブレイク　117
動物園飼育日記〈269〉　118
珈琲飲みながら／朝丘雪路　122
出会いの旅／札所巡り余話／山田昇一　124
神戸の集いから　129
神戸を福祉の町に／橋本明　130
やあ神戸っ子　134
KFSニュース　135
話題の広場／月刊オール関西を励ます会　136
神戸百店会だより　138
有馬歳時記　140
リレー連載漫画／猫じゃらし・佐藤晴美　142
KOBEモダンカルチャー　144
シネマ試写室／淀川長治　146
びっといん　148
ポケットジャーナル　150
美女対談／小関三平・芦川照葉　154
連載小説／「夢食い魚のブルーグッドバイ」
　釜谷かおる　カット／ユタカ順子　158
一千一秒物語／イナガキタルホ・銅版画／大月雄二郎　180
海船港／「瀬戸大橋初クルージング」かどもとみのる　182
カメラ／米田定蔵・池田年夫・松原卓也



絵／松原　政祐

風見鶏がみた夢物語は
——何だろう。

エキゾチシズムが漂う
「ニュー・トーキヨー」元町店が
今、甦る——。
レトロにしてモダン
エキセントリックなロマンとの
出会いの始まり。

1F ビヤホール「WELL（ウエル）」

「樽から生まれたてのビールは、最高ダゼ！」
「自慢のチムニーロースター料理も最高ネ！」
笑顔と会話がいっぱい。さあ、仲間が揃ったら
"カンパイ"しようぜ——。
●営業時間（平日）11:30a.m.～ 2:00p.m.
4:00p.m.～11:00p.m.

2F 居酒屋「さがみ」

「とれたての魚って、
舌にとろけるみたいでおいしい。」
「熱燗片手に、旬の日本の味って、
やっぱりうまい。」
明石港直送の海の幸や、野や山の幸、
旬の串やきを民芸調の雰囲気の中で
存分に。（個室もご用意しています。）
●営業時間（平日）4:00p.m.～11:00p.m.

3F パーティルーム

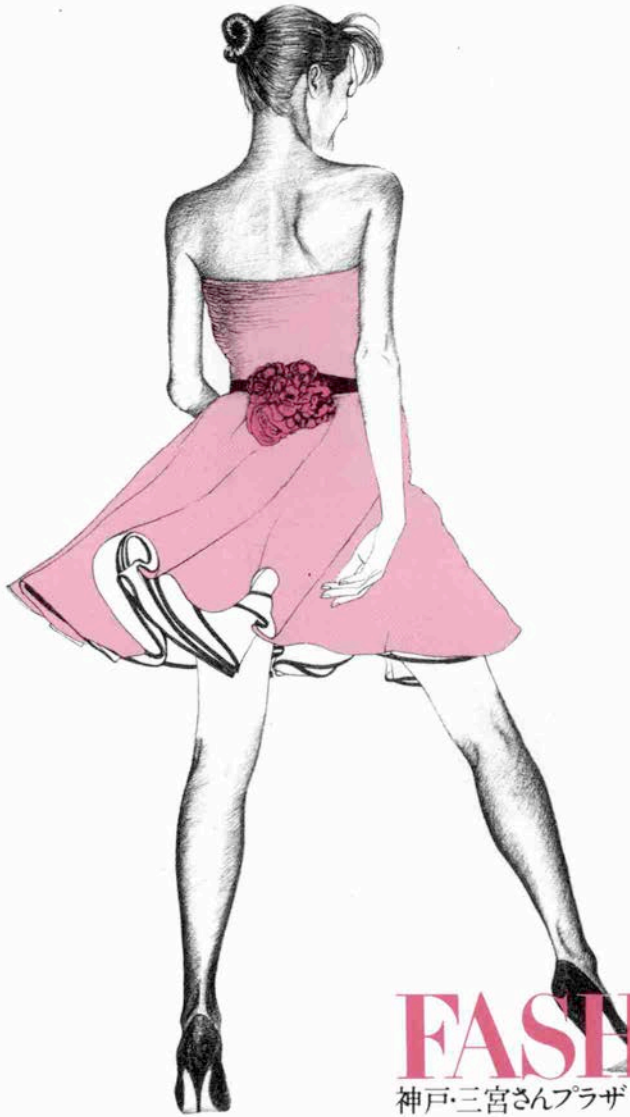
●洋室15～50名様用
和やかな各種ご宴会、ご会合
などにお気軽にご利用くだ

愛されて50年

昭和13年12月30日、神戸三の宮にビヤホールを開店
以来、生ビールにこだわって50年！

神戸元町ニュートーキヨー

TEL 078(391)4511(大代)



感性のステージ、ファッションパーク。

新宿・高野
BONFUKAYA
ゲルラン
ココ山岡
VICKY
LEE SOPHY
ELLE
ブライダルサロン・ルーブル
THE CONCEPT
ダイアナ
サイズショップ・ダイアナ
OFU
CLAUDE LEMA
ZAZIE
三愛

FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザ センタープラザ3F

営業時間 ―am11:00―pm8:00
PHONE――078(332)1698

菅野一民 宮崎雅嗣 柴藤浩二朗 西村博 洪谷徹

いつだって気分は最高。仲間と夏。

シャツ ¥5,900 ¥8,300 ¥8,800 ¥9,800 パンツ ¥11,000 ¥12,500 ジャンパー ¥12,000 ¥18,000

MAC
SINCE 1895 KOBE

本部/中央区三宮町1丁目6-22(ニューセンター7F) (078) 392-1651

三宮本店／三宮センター街	(078) 391-0895	京都店／藤井大丸2F	(075) 211-0857
ブレザーショップ／トアロード	(078) 391-0896	姫路店／FESTA 2, 3F	(0792) 89-4738
ドルチェマック／三宮センター街	(078) 332-0141	宝塚店／宝塚南口サンビオラ3F	(0797) 71-4830

☆私の意見

ふれあい大切にはじめて開かれる兵庫インターハイ

辻村　豊治
〈兵庫県立御影高等学校長〉

7月31日から、神戸でははじめての、「昭和63年度全国高等学校総合体育大会」が開催されます。兵庫県で22種目、そのうち神戸市では、総合開会式と、7種目の競技が、〝光る汗　かがやく瞳　いま青春〟のスローガンのもとに行なわれるのです。

この大会は、戦後の暗い世相の中、若者の力による明るい社会づくりを期待してはじめられたもので、今では全国から選手（監督も含めて）約三万人、応援団と父兄・一般観客を加えると十万人が予想されるほどの、大きなものになっています。

この大会の特徴の一つに、「一人一役運動」というのがあります。これは、開催県で、選手以外の高校生も「一人一役」で大会に積極的に参加することを目的とするもので、開催県の高校生約二十二万人の一人一人が、遠来の選手にわたす記念品（しおり、巾着袋、ハンカチ、襟巻など一万四千個）、を手作り製作。当日は会場で、兵庫県の特色が出るような、合唱・リズムダンス・ブラスバンドなどを観客の皆さんに披露します。

また、現在企画中のものとして、選手の出迎え・見送りを同じ高校生が担当する「神戸メイト」。開催期間中、中心になると予想される新神戸駅から三宮までのフラワーロードを、市民の方々の協力をお願いして清掃する「クリーンアップ作戦」。会場を飾る花（マリーゴールド）の世話を園芸科を持つ高校にお願いし、友情の花の種として次の開催ブロックに送る「花いっぱい運動」など、生徒たちに授業ではつかめないものを、このインターハイに参加することで感じてほしいと思います。

一般の市民の方々へのアプローチとしては、インターハイのパンフレットや花の種を配ったり、兵庫県下の各高校・駅に垂れ幕などをお願いすることにしています。そして、5月中旬の神戸まつりパレードに、マーチングバンド・19種目のユニホーム姿で参加したいとも考えており、高校生主導の「手づくりのふれあい」で、会場に植えられるマリーゴールドのように、一杯にしたいと願っています。

（談）

真冬の摩訶不思議

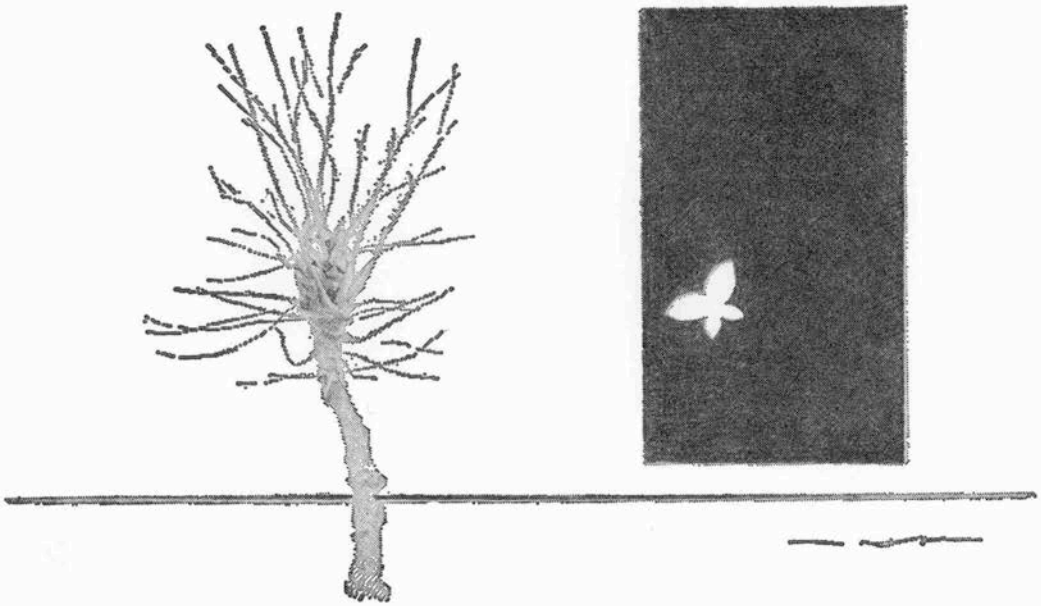
第三紀層同人
現代詩神戸研究会会員　たかとう　匡子
イラスト　田中　一好

シジミ蝶より一まわり小さなものが
大寒に入った日から
台所の天井すれすれに乱舞しはじめて
もう一週間になる

電燈をつけると
それはまたたく間に消える
天井や壁にしがみついて
羽を閉じて動かなくなる
暗がりで行動するのが習性だと見えるから
明るくなった瞬間をねらって
ハエたたきで打ち落とすけれど
それは確実に増えつづけていた

『科学のアルバム』のページを繰る
小さい蝶のウラギンシジミ　ベニシジミ
まるい紋様はないから
ヒメウラナミジャノメでもないし

蛾のなかまのウスバツバメともちがう

私は追跡者になる
流し台の下　野菜かご　米櫃の中
ガス台から湯わかし器の裏側
樹木や小屋や枯れ草が影を落とす道を
走っている
と
あれは過疎の村のキャベツ畑か
北風が吹き寄せられている畦のあたり
桜の花びらに似たものが舞っている
どこかで見た気がする記憶の
と言いかけて気づく
無農薬野菜だ
友人M・Yが丹精こめて作って
年末に郵便小包で送ってくれた
白菜や大根の

受話器と壁のすき間にねじ込んだ
手さげ袋の裏生地に
二センチほどの
サナギの殻を無数に見たのは
それから数カ月後のことである